

日本舞踊におけるSD法による イメージの調査用語に関する検討

日本大学 ORCNANA プロジェクト 頭川 昭子
日本大学 三戸 勇氣 丸茂 祐佳

1. 研究目的

日本舞踊は、日本の伝統様式を持ち、変化発展してきている。日本舞踊の作品は多様であるが、他国の舞踊文化にはみられない共通点もある。本研究では、日本舞踊独自のイメージ、作品の特徴、踊り方の相違点などを日本舞踊のための意味差別法（以下SD法¹と略）を用いて研究し、指導に役立てるために行われる。この度は、日本舞踊におけるイメージの調査用語を検討し、決定するまでの過程を明らかにすることを目的とする。

注¹ SD法は、米国のOsgood, C. E.らによって開発された、言語や事物のイメージを明らかにする方法である。

2. 研究方法

1) 刺激資料

日本舞踊専門家が作者、踊り手、作品内容、音楽、衣裳などの異なる日本舞踊の作品を抽出し、ランダムにVTRテープにダビングしたものを刺激資料として用いた。作品名は、子守（1名）、三社祭（2名）、保名（1名）、鳥羽の恋塚（1名）、汐汲（1名）、珠取海士（1名）の6作品であり、作品時間は、約2分から6分である。

2) 資料の収集方法

平成17年8月～11月にN大学芸術学部の173名の大学生（男42名、女110名、無記名21名）を被検者として、6作品のVTR資料の印象について、3語から15語の形容詞または形容動詞の単語で自由に回答させた。

3) 資料の処理方法

得られた資料は、EXCEL（Microsoft社）で処理した。

- (1) 作品毎に一人ずつの結果を入力し、得られた単語数を集計し、ソートして類似語を出し、多い順に並べて、作品の特徴を検討した。
- (2) 全作品を一括してソートし、類似語を数回に渡り検討し、全単語数の65.00パーセント以上を検討し、対語のある単語を導き出し、出現数を考慮に入れて調査用語を決定した。

3. 結果とその考察

1) 作品毎の単語の検討と作品の特徴

作品1『子守』は、546語、193種類で、可愛い、にぎやかな、明るい、楽しいが多く、作品2『三社祭』は、499語、192種類で、楽しい、面白い、作品3『保名』は、650語、265種類で、静か、暗い、ゆっくり、寂しい、作品4『鳥羽の恋塚』

は、540語、211種類で、力強い、暗い、静か、きれい、美しい、作品5『汐汲』は、551語、202種類で、きれい、美しい、華やか、可愛い、作品6『珠取海士』は、438語、196種類で、静か、きれいが多くみられた。いずれも20語以上の単語を多いものとして取り上げた。

6作品の中で作品3『保名』は、一番単語数、種類数が多くみられたが、作品時間との関連があると言える。作品1と5には、「可愛い」がみられるが、作品1は「リズムカル」な特徴もみられ、作品5の「華やか」な要因とは異なる。また、作品3と4には、「静か、暗い」がみられるが、作品3は「ゆっくり」で、作品4の「力強い」要因とは異なる。このように6作品はそれぞれ異なる特徴を持つ作品であると言える。

2) イメージ調査のための用語の検討

全6作品の総単語数は3224語であった。単語は、形容詞、形容動詞に加えて、名詞、動詞もあったため、形容詞、形容動詞に変換できるもののみを取り上げ、類似語を検討した。1回目では名詞、動詞を含む712種類、2回目では対語にできない単語を取り除いた2516語、388種類、3回目は2468語の99種類を検討した。さらに、検討を重ねて全単語数の70.00パーセント以上で11回出現した54対を抽出した。主な用語は、さわがしい－静か、きれい－きたない、明るい－暗い、軽い－重いなどであった。この54対の用語をもとに7段階の尺度のイメージ調査用紙を作成した。

Table 1 日本舞踊のイメージ調査のための対語の抽出

出現数	13回	12回	11回	10回	9回	
	50対	52対	54対	58対	61対	
全用語数	3224	2229	2253	2275	2305	2348
	69.14%	69.88%	70.56%	71.50%	72.83%	
全種類数	712	50	52	54	58	61
	7.02%	7.30%	7.58%	8.15%	8.57%	
全対語数	2468	2229	2253	2275	2305	2348
	90.32%	91.29%	92.18%	93.40%	95.14%	
対語種類数	99	50	52	54	58	61
	50.51%	52.53%	54.55%	58.59%	61.62%	
対語種類数	99	13	12	11	10	9
	13.13%	12.12%	11.11%	10.10%	9.09%	

追記：本研究は文部科学省ORCNANAプロジェクトによって行われた。